

日時：平成30年11月29日（木）10：30～11：00

場所：市役所第6会議室

出席者：市長、副市長、理事、企画部長、総務部次長、教育次長、商工観光課長、企画政策課長補佐

取材者：共同通信、東海新報、岩手日報、NHK、河北新報、朝日新聞、読売新聞（敬称略、順不同）

市長挨拶

本日は、明日から始まる12月議会の内容を中心にお話しさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

会見項目

（1）平成30年第4回市議会定例会について

担当者）

会期は11月30日から12月12日までの13日間であります。

一般質問は10名の議員から通告を受けております。

提出案件は、報告が1件、提出議案が37件であります。

主な提出案件としまして、議案第4号「陸前高田市まちづくり総合計画基本構想及び前期基本計画の策定について」は、平成31年度を初年度する10年間の総合計画を策定するものであります。

議案第19号「陸前高田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例」は、雇用奨励金及び立地促進補助金の拡充施策を講じるための改正であります。

議案第24号「陸前高田市保健センター条例の一部を改正する条例」は、保健センターの完成に伴う改正であります。

議案第25号「陸前高田市立保育所設置条例の一部を改正する条例」は、現在の長部保育所及び今泉保育所を統合し、今泉の高台に新たに気仙保育所を設けるものとなっております。また、現在使用していない矢作保育所を廃止する改正議案でもあります。

議案第28号「陸前高田市立小学校設置、管理に関する条例の一部を改正する条例」は、気仙小学校の位置を変更するための改正であります。

議案第29号「陸前高田市チャレンジショップ条例」は、陸前高田市チャレンジショップの設置及び管理に関し必要な事項を定めようとするものであります。

議案第30号、32号、35号、37号は、人事院勧告に伴い、人件費の補正をする

ものであります。

議案第31号「平成30年度陸前高田市一般会計補正予算（第4号）」は、復旧・復興関連事業費の歳入歳出予算の各々に60億3,314万円を追加し、総額が1,020億5,916万4千円とするものであります。その主な事業としては、福祉灯油の支給事業費約600万円、エアコン設置工事費で小学校分約1億9,000万円、中学校分約6,000万円を措置し普通教室全てにエアコンを整備するものであります。

補正額が大きいものとしては、高田・今泉地区の復興土地区画整理事業委託料として約37億円、脇之沢漁港防潮堤工事費として約7億4,000万円などを計上しています。

債務負担行為の補正としては、行政事務の包括業務委託事業の期間を平成31年度までとし限度額1億7,000万円を予定しています。また、市役所の整備事業の期間を平成32年度までとし限度額48億6,400万円を追加しようとするものであります。

【質疑】

質問)

議案第19号「陸前高田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例」を出すタイミングが今となった理由を教えてください。

担当者)

嵩上げ地の整備が進んできたことに伴い、企業立地も推し進め、雇用の場を創出する段階に来ていると考えているためであります。

(2) 12月～平成31年2月の行事予定について

担当者)

12月1日(土)は、東日本大震災被災地・陸前高田市復興支援イベントとして、川崎フロンターレ「陸前高田ランド冬」が川崎市営等々力陸上競技場で開催されます。「高田・フロンターレスマイルシップ友好協定」に基づいた交流事業で、毎年春・冬の2回開催しているイベントであります。今回は、Jリーグ2連覇を果たした川崎フロンターレの今期最終戦であるジュビロ磐田戦にて開催し、市内の業者15店舗が出店し、餅まきなども行われる予定になっています。

12月2日(日)は、「剣豪千葉周作」顕彰第20回少年剣道錬成大会が夢アリーナたかたで開催されます。関東圏が2チーム、東北各県から6チームが招待チーム8チーム、岩手県ベスト7チーム、岩手・宮城沿岸チーム7チームが選抜チーム14チーム、地元2チームの合計24チームが参加予定となっています。

12月8日(土)は、第2回ノーマライゼーション推進市民講座が夢アリーナたかたで開催され、パラスポーツを学ぶレクチャータイムのほか、体験プログラム、グループワークがマルゴト陸前高田主催で行われます。

12月16日(日)は、陸前高田市防災マイスター養成講座が5月から開始され、今回は8回目の最終講座となっており、確認テストやマイスター修了書授与などが行われ

ます。

同日開催の平成30年度スポーツ少年団交流スポーツフェスティバルは、毎年開催する市内のスポーツ少年団相互の交流と親睦を図るイベントで、綱引き競技大会を開催します。今回はコナミスポーツ体操競技部によるイベントがあわせて行われる予定であります。

12月28日（金）は仕事納め式、平成31年1月4日（金）は仕事始め式となっております。

同日1月4日（金）は、毎年恒例の新年交賀会がキャピタルホテル1000で開催されます。

1月6日（日）は、消防出初式として市内行進が8時30分から、式典は高田第一中学校で行われます。

1月13日（日）は、成人式をコミュニティホールで行われます。

1月18日（金）は、気仙小学校新校舎落成式が行われます。

【質疑】

質問)

気仙小学校新校舎の活用開始はいつからになりますか。

担当者)

始業式1月18日にあわせ落成式を開催し、同日から生徒により新校舎が使用されます。

その他

【質疑】

質問)

来年度の主な行事や施設の完成などを教えてください。

市長)

三陸防災復興プロジェクト2019の最終日8月7日に、イベントを一関市と協力しながら開催したいと考えています。同月に道の駅と追悼祈念施設が完成する予定であります。

担当者)

来年5月にチャレンジショップのオープン、夏の終わりにはコミュニティハウスの完成、2学期から新設の高田小学校が使用可能に、来年度中には市民文化会館が完成する予定であります。

質問)

議案第16号「陸前高田市二又復興交流センターの指定管理者の指定について」ですが、冬期は休業すると聞いていますがその理由を教えてください。

担当者)

冬期12～2月は、宿泊者が大幅に落ち込むことや、学校の改修による宿泊場のため、寒さ対策が難しく休業とすることにしました。

質問)

復興期間後など今後の長期的な財政計画を立てる予定はありますか。

担当者)

3年のローリングで財政の見通しを立てる予定はありますが、市による歳出の見通しを立てることができる一方で、歳入は国や県の制度等により変化が生じるため予測しづらい面があります。現状を踏まえながら総合計画の実施計画のなかで財政計画も見ていこうと考えています。

質問)

復旧・復興の取組みを検証するものをまとめる考えはありますか。

市長)

特に大きな課題の一つとしての区画整理事業は、今後、発災した日本のどこかで同事業を実施するにあたっては、通常の区画整理では対応が難しく多くの時間を要してしまいます。そのため、津波の被害等における対策としては、特別な区画整理事業を準備しておく必要があると国などに話をしています。

復旧・復興は、個々の自治体により壁となったものが異なると思われるので、それをまとめて最終的に要望をするということは大切であると考えています。

質問)

復旧・復興の検証を国や別の機関に頼んだりするのですか。

市長)

私達で変えられるものは変えていくが、基本的には法律が壁となることが多い。南海トラフ等の発災時に対応できるような対策を取ってもらうために、我々の反省や教訓を伝えていく。市で課題集などを作成することは考えていません。全国でお世話になっている方々にとっても、沿岸被災地の自治体と経験や願いを国に伝えていくことが大切であると考えています。

以 上